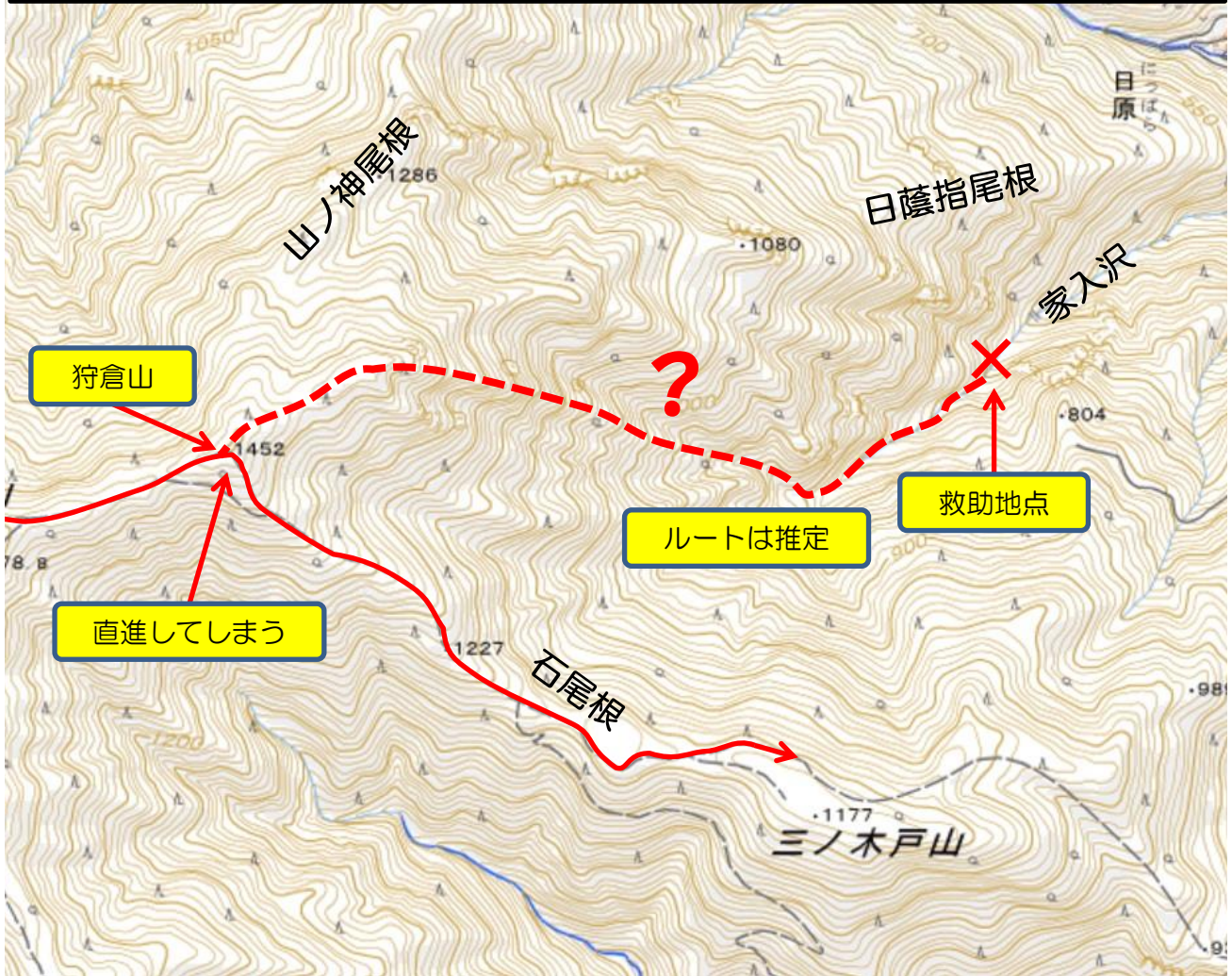


狩倉山遭難(2015年9月)

31歳男性、単独。鷹ノ巣山からの下りで道迷い。狩倉山を直角に曲がらないと石尾根には行けないが直進し道に迷う。そのまま沢に下り、電波の入ったところで救助を求め事なきを得た。



解説

狩倉山頂上を右折し石尾根に行くところを直進し、山ノ神尾根に入ってしまう。すぐに正面の幅の広い日陰指尾根に引き込まれ、そこから東寄りにルートをとって下ったため、最後には家入沢に下りた。

沢に出てからはそれほど下っておらず、600mぐらいと推定される。沢を強引に下ろうとしないで救助要請したのは生き延びるために良い判断だった。(本文引用)

ピークに登って下るときに方向転換をする場合、ピークから下りでの道迷い事例は多い。ほとんどの場合、直進してしまう傾向にある。この直進してしまう行動を止めるには、地図の先読み(予測)で、「狩倉山では直角に右に曲がる！」と事前に地図を確認しておく以外に方法はない。

YAMAP(有料)やヤマレコ(無料)の道外れ警告機能がある。先日、登山道を歩いていた「ルートから外れました。」と地図アプリから警告され、よく見るとルートから外れて違うルートを歩こうとしていた。

事前に登山計画を作成しルート設定が必要だが、とても有効な機能だと思う。遭難しないためには、どんな方法でも使う。今は、その機能が存在するのだから多めに使ってもらいたい。